平成３１年３月１５日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第１３回会合の開催について

１．趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応について検討するために，３月１５日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第１３回会合を開催。

２．タスクフォース出席者

議　長	西村　康稔	内閣官房副長官
副議長	古谷　一之	内閣官房副長官補（内政）
	濱野　幸一	内閣官房内閣審議官
構成員		
	多田　明弘	内閣府政策統括官（経済財政運営担当）
	中島　淳一	金融庁総合政策局総括審議官
	吉田　眞人	総務省　国際戦略局長
	香川　剛廣	外務省　国際貿易・経済担当大使
	山上　信吾	外務省　経済局長
	齊藤　純	外務省　欧州局参事官
	高見　博	財務省　大臣官房審議官
	迫井　正深	厚生労働省　大臣官房審議官
	横山　紳	農林水産省　大臣官房総括審議官（国際担当）
	田中　繁広	経済産業省　通商政策局長
	吉田　晶子	国土交通省　大臣官房審議官（国際担当）
	其田　真理	個人情報保護委員会　事務局長
在外公館長		
	鶴岡　公二	駐英国日本国特命全権大使
	兒玉　和夫	欧州連合日本政府代表部特命全権大使

３．第十三回タスクフォースの概要

（１）３月１５日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第１３回会合が，議長である西村官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）同会合では，各府省庁等から，英・ＥＵ間の離脱交渉を始めとする，これまでの展開について得られた情報や現時点の分析について報告があり，今後の対応について検討を行った。

（３）西村官房副長官から冒頭以下のとおり述べた。

ア　英国時間１４日，英国議会下院は，離脱期限の延期の方針に関する政府動議を可決した。これにより，今後，離脱協定案が承認されれば，英国政府は，離脱期限の延期に向け，ＥＵと協議していくこととなるが，来週２１日及び２２日に行われる欧州理事会を経て，３月２９日の離脱期限までにいかなる展開となるか，依然として予断を許さない状況である。

イ　「合意なき離脱」となった場合には，日系企業も含め英国からの撤退・生産ラインの一部停止等を検討している企業もあり，そうした動きについても一層注視していくことが必要であり，日本政府としては，情報提供等日系企業の支援に引き続き取り組んでいく。

ウ　「合意なき離脱」の回避と日系企業に対する離脱に関する影響を最小化する

ためのハイレベルから働きかけに関し，１１日には，山田外務大臣政務官からフィールド英国外務閣外大臣に対して働きかけを実施。また先週は，香川国際経済・貿易担当大使がロンドン及びブリュッセルを訪問し，英国政府及びＥＵ側に対し働きかけを行った。自分も，本日午後にキャロライン・フェアベアン英国産業連盟事務局長と面会し，意見交換を行う。来週は，訪英予定の薗浦総理補佐官から，英国側関係者に対して働きかけを行う予定。エ　本日は，香川国際貿易・経済担当大使から報告を受け，帰国中の鶴岡駐英国大使及び兒玉ＥＵ代表部大使からも，最新の情勢について報告してもらい，関係省庁を含め分析を行う。また，離脱への備えに関する関係省庁の取組についても最新の状況について報告を受ける。

オ　日本政府としては，離脱に係る最新の情報をしっかり共有し，「合意なき離脱」は避けるべきとの基本的立場の下，引き続き英・ＥＵへ働きかけを行っていくとともに，必要な備えを行っていく考え。

（４）また，西村官房副長官から，締め括りに，本日の報告及び分析を踏まえ，今後の動向を注視しつつ，これまでの指示事項に基づき，各省庁には，それぞれの所管において，引き続き，中小企業を含めた所管業界の経済活動が円滑に継続できるよう，必要な対応に万全を期すことを求めるとの発言があった。